追手門学院大学 教育後援会会報

教育後援会長挨拶

会長　渡辺　睦翁

本年6月6日（土）に優駿ホールにて開催されました教育後援会の総会におきまして、会長の大役を再び仰せつかることになりました。その重責にあらためて身の引き締まる思いでございます。

これからの一年も会員である保護者の皆さまと心を一つにして、追手門学院大学の一層の発展を願って、精一杯努めてまいる所存でございますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

教育後援会は、「学生が大学で有意義に過ごせるようにサポートすること」、「大学の教育・研究活動の充実に寄与すること」及び「会員相互の親睦を図ること」を目的として、さまざまな事業を行っておりますが、これらの諸事業が学生たちの成長を育み、輝かしい未来に向けた実りある大学での生活の一助となりますことを心から願っております。

２０１５年（平成27年）に追手門学院大学は「地域創造学部」を新たに開設し、また２０１６年（平成28年）には、創立50周年を迎え、さらなる教育・研究活動の充実、教育環境の整備に向けてすでに始動しております。本会も大学との連携を深め、より一層の発展に向けて邁進していく所存でございますので、会員の皆さまのご理解とご協力を頂きますよう切にお願い申し上げます。

見学懇親会印象記

教育後援会　委員　一瀬　隆子

10月12日、晴天の中、教育後援会と卒業生保護者の会の会員及び学院関係者１２６名が参加し「トロッコ列車・嵐山散策」と「保津川下り」「妙心寺大法院、退蔵院」及び「金剛能楽堂」の見学懇親会が行われました。

京都駅に集合しその後バスで移動。トロッコ列車・嵐山散策組と保津川下り組に分かれて行動、私は保津川下りを選択しました。胴衣を着け、いざ出発。

保津川下りとはもともと京都、大阪に物資を輸送することに始まったと聞きました。高低差２メートルある「小鮎の滝」や長い年月の間、同じ所に竿を指して出来た「竿の跡」などがあり、所々で舞い上がる波しぶきがとても新鮮で楽しかったです。下船後、懇親会場へ移動し昼食をいただきました。

午後からは、「妙心寺」を見学。「退蔵院」と「大法院」を２つの班に分け見学しました。「退蔵院」では国宝「瓢鮎図」や枯山水庭園が印象的でした。「大法院」は通常は、非公開なのですが、今回、旅行会社の特別プランで拝観させていただきました。真田幸村の兄で松代藩主であった真田信之の菩提寺として建てられたそうです。境内には「露地庭園」があり心が安らぎました。

妙心寺で心が安らいだ後は、金剛能楽堂で「茨木童子」を鑑賞。童子は平安時代に大江山を本拠地に京都を荒らしまわったとされる「鬼」で、酒呑童子の家来だったそうです。

楽しかった見学懇親会も終わり帰路へ…。

今回の見学懇親会に参加し、改めて古都京都の良さが分かりとても良かったと思いました。最後に今回の企画をされた教育後援会や、関係者の皆様に御礼を申し上げます。次回も是非参加し良き一日を楽しめればと思います。

▲日本最大の禅寺
妙心寺

金剛能楽堂で上演された「茨木童子」の様子▶

発行所
追手門学院大学
教育後援会
〒567-8502
茨木市西安威２－１－15
TEL 072（641）７７４９
FAX 072（643）５７４２
印刷所
株式会社　七旺社
神戸市長田区一番町２－１
TEL 078（575）５２１２

追手門学院大学創立 50 周年記念事業

茨木童子、京都に還る！
京都凱旋狂言会

10月12日（月・祝）夜、京都の金剛能楽堂にて、教育後援会の後援により、本学と狂言大蔵流茂山千五郎家、茨木市文化振興財団が連携して練り上げた新作狂言『茨木童子』が上演されました。

見学懇親会の一環として訪れた教育後援会をはじめ、大学校友会や山桜会などの追手門ファミリーが会場に集い、満員御礼の客席から大きな拍手が贈られました。

2014年度 教育後援会総会開催

２０１５年６月６日（土）午前10時30分より６号館優駿ホールにて、２０１５年度教育後援会総会を開催いたしました。ご参加くださいました会員の皆様に厚くお礼申しあげます。

教育後援会渡辺会長の挨拶に続き坂井学長、川原理事長よりご挨拶をいただきました。

次に２０１４年度役員の紹介、２０１５年度新役員の紹介があり、新役員を代表して渡辺会長より就任挨拶を行いました。

その後議長に会長が選出され、議事が進行されました。

詳細は次の通りです。

２０１４年度事業報告

本会は、

１　学生の福祉を増進する

２　教育環境の向上に寄与する

３　大学と家庭の連携及び会員相互の親睦を図る

を目的として、２０１４年度は次の事業を実施した。

１　学生への援助

(1)奨学金の給付

①教育後援会給付奨学金

修学の熱意があるにもかかわらず経済的理由により修学困難な学生を援助することを目的とする。当年度より給付者を春学期、秋学期５名ずつ拡充し、30名の学生に給付した。

②修学援助給付奨学金

学資支弁者たる父母または保証人が死亡したことによる家計急変のために、修学を継続することが経済的に困難となった学生の学費等を援助することを目的とする。当年度は７名の学生に給付した。

(2)課外活動に対する援助

課外活動団体の大会出場にかかる諸経費、学外施設の利用料及び成績優秀団体への報奨金等の援助を行った。

(3)就職活動に対する援助

３年生対象の就職模擬テスト（筆記試験、自己分析、ＳＰＩ・Ｗｅｂテストの対策）の受験料の半額補助を行った。

(4)国際交流活動に対する援助

海外留学準備講座、英語力アップ講座、語学検定料等の援助を行った。

(5)入学・卒業記念品の贈呈

入学生へ入学記念品として筆記具、卒業生へ卒業記念品として印鑑１本と袱紗を贈呈した。

(6)卒業記念パーティーの開催

・２０１４年９月26日（金）、春学期末学位授与式終了後、大学食堂棟において開催した。

・２０１５年３月18日（水）、学位授与式終了後、ホテルニューオータニ大阪において開催した。

２　大学への援助

(1)学生支援基金の積立

奨学金制度の充実、課外活動・就職活動・国際交流活動に対する援助の充実を図ることを目的とした基金の積立（２０１２年度～２０１５年度）

(2)大学50周年記念事業協力基金の積立（２０１２年度～２０１５年度）

(3)教育後援会事務の委託にかかる経費補填

３　家庭と大学との連携、会員相互の懇親を図る事業

(1)会報の発行

２０１４年４月30日と12月20日の２回発行した。

(2)「保護者のためのキャンパスガイド」の発行

入学手続き後に新入生保護者に配布した。

(3)ホームページの維持・更新

(4)新入生保護者のためのオリエンテーションへの援助

６月７日（土）に開催した。

(5)保護者のための就職講演会の開催

６月７日(土)と２０１５年２月21日（土）の２回開催した。なお、６月は「新入生保護者のためのオリエンテーション」のプログラムの一つとして開催した。

(6)保護者のための講演会の開催

学生相談室の企画・協力のもと６月14日（土）に開催した。

(7)修学相談会への援助(年２回)

６月７日（土）と10月25日（土）に開催された同相談会へ援助した。

(8)見学懇親会の実施

10月28日（火）、卒業生保護者の会と共催で三重県の伊勢神宮への日帰りバス旅行を開催し、96名が参加した。

(9)新会員歓迎会及び歓迎のお茶席「桜の縁」の開催

２０１４年４月１日（火）に開催した。

(10)特別公開講座「おうてもん塾」の開講

・第１期

経済学部　経済学入門講座「難しく語る経済学からの脱却を！生活に根ざした経済を！」

５月～６月　６講

・第２期

心理学部「使える心理学」

10月～11月　６講

(11)総会、委員総会、実行委員会（８回）、役員候補者推薦委員会（２回）の開催、会計監査の実施

(12)慶弔規定にもとづく祝金及び弔慰金・樒料の給付

２０１４年度収支決算報告及び会計監査報告

原案のとおり承認されました（３ページ参照）。

２０１５年度事業計画案及び収支予算書

１年生を対象に実施する基礎学力測定試験受験料の全額援助や、就職模擬試験受験者の増加見込みによる拡充等、２０１４年度事業に新規事業を追加する事が承認されました。また、２０１５年度収支予算書は原案のとおり承認されました（３ページ参照）。

退任役員感謝状及び記念品贈呈

退任役員に学長より感謝状及び記念品と花束が贈呈されました。

最後に教育後援会の活動に対するご支援・ご協力を改めてお願いして総会を閉会いたしました。

2014年度教育後援会収支計算書
<2014.4.1～2015.3.31>

（単位：円）

	科目	予算額	決算額	差異
収入の部	会費	63,140,000	64,610,000	△1,470,000
	会員研修参加費	1,140,000	1,535,282	△395,282
	受取利息配当金	13,000	16,003	△3,003
	雑収入	15,000	30,000	△15,000
	当年度収入合計	64,308,000	66,191,285	△1,883,285
	前年度繰越金	57,144,579	57,144,579	0
	収入の部合計	121,452,579	123,335,864	△1,883,285
支出の部	会議費	500,000	488,862	11,138
	会員研修費	3,000,000	2,862,651	137,349
	教育・就職講演会援助費	1,000,000	381,068	618,932
	学生奨学金助成費	14,750,000	16,625,000	△1,875,000
	学生関係援助費	6,700,000	6,181,966	518,034
	記念事業協力積立金	2,500,000	2,500,000	0
	会報作成費	1,000,000	635,596	364,404
	キャンパスガイド作成費	1,000,000	968,760	31,240
	卒業記念パーティー費	8,900,000	8,640,119	259,881
	記念品費	4,740,000	5,070,000	△330,000
	慶弔費	600,000	624,800	△24,800
	通信費	2,000,000	1,822,674	177,326
	事務費	1,000,000	1,191,306	△191,306
	広報費	500,000	476,928	23,072
	雑費	50,000	58,006	△8,006
	事務処理援助費	3,500,000	3,500,000	0
	学生支援基金積立金	10,000,000	10,000,000	0
	予備費	3,050,000	0	3,050,000
	当年度支出合計	64,790,000	62,027,736	2,762,264
	次年度繰越金	56,662,579	61,308,128	△4,645,549
	支出の部合計	121,452,579	123,335,864	△1,883,285

上記のとおり報告いたします。　2015年5月16日

追手門学院大学教育後援会　会長　渡辺睦翁
会計　岩下直美
会計　東畑千尋

2014年度教育後援会の会計について監査の結果、すべて適正、かつ正確であることを認めます。2015年5月16日

追手門学院大学教育後援会　会計監査　織田弘美
会計監査　野々村圭子

2015年度教育後援会収支予算書
<2015.4.1～2016.3.31>

（単位：円）

	科目	15年度予算額	14年度予算額	差異
収入の部	会費	64,650,000	63,140,000	1,510,000
	会員研修参加費	1,300,000	1,140,000	160,000
	受取利息配当金	13,000	13,000	0
	雑収入	15,000	15,000	0
	当年度収入合計	65,978,000	64,308,000	1,670,000
	前年度繰越金	61,308,128	57,144,579	4,163,549
	収入の部合計	127,286,128	121,452,579	5,833,549
支出の部	会議費	650,000	500,000	150,000
	会員研修費	3,000,000	3,000,000	0
	教育・就職講演会援助費	1,000,000	1,000,000	0
	学生奨学助成費	14,750,000	14,750,000	0
	学生関係援助費	13,150,000	6,700,000	6,450,000
	記念事業協力積立金	2,500,000	2,500,000	0
	会報作成費	1,000,000	1,000,000	0
	キャンパスガイド作成費	1,100,000	1,000,000	100,000
	卒業記念パーティー費	8,900,000	8,900,000	0
	記念品費	4,800,000	4,740,000	60,000
	慶弔費	600,000	600,000	0
	通信費	2,200,000	2,000,000	200,000
	事務費	1,300,000	1,000,000	300,000
	広報費	1,000,000	500,000	500,000
	雑費	50,000	50,000	0
	事務処理援助費	3,500,000	3,500,000	0
	学生支援基金積立金	10,000,000	10,000,000	0
	予備費	3,000,000	3,050,000	△50,000
	当年度支出合計	72,500,000	64,790,000	7,710,000
	次年度繰越金	54,786,128	56,662,579	△1,876,451
	支出の部合計	127,286,128	121,452,579	5,833,549

2015年度 教育後援会役員

職名	氏名	学年	学部
会長	渡辺睦翁	3	経営
副会長	堤みゆき	4	国際教養
	福井尚子	4	経営
	平塚亜矢子	3	心理
会計	東畑千尋	4	経済
	鶴田順子	3	経営
会計監査	安田友紀子	4	社会
	圓山律子	4	国際教養
委員	小寺千聡	3	経済
	一瀬隆子	3	経営
	岸本起久子	3	経営
	坪田玲子	3	社会
	岩村公江	3	国際教養
	富田善美	2	経済
	谷村仁代	2	経営
	田中里香	2	経営
	森下純江	2	経営
	堀井裕司	2	経営
	上原裕香	2	心理
	安孫子浩子	2	社会
	小村美幸	2	国際教養
	神崎実	1	経済
	竹内暁子	1	経済
	林真由美	1	地域創造
	野村和子	1	社会
	瀧野仁海	1	国際教養

保護者のためのオリエンテーション

総会終了後、「保護者のためのオリエンテーション」を開催いたしました。

優駿ホールでは「保護者のための講演会」として12時40分から学生相談室による「学生の『巣立ち』をめぐる今日的課題―空の巣症候群に陥らないための親の心得とは―」、14時から就職・キャリア支援部による「就職活動におけるインターンシップの位置づけ」といった講演会を開催し、たくさんの父母・保護者の皆様にご参加いただきました。

また、食堂棟では本学卒業生の藤尾政弘氏（株式会社フジオフードシステム経営者）の顕彰コーナー除幕式や学生によるパフォーマンス、学生食堂無料体験等が開催され、学生が普段利用している食堂と活気のある雰囲気を体験していただきました。

また、お子様の学生生活にかかる各種相談コーナーを設け、奨学金相談、海外留学相談、教員免許・資格取得、学生相談等を各会場にて受け付けました。

教育後援会給付奨学金交付式挙行

２０１５年度教育後援会給付奨学金交付式を春学期４月25日（土）、秋学期９月25日（金）に挙行しました。

この奨学金は教育後援会の資金をもって創設し、修学の熱意があるにもかかわらず経済的理由により修学困難な学生への援助・学業に専念できる環境づくりを目的としています。

２０１４年度の総会にて給付枠20名から30名への拡大が承認され、選考により春学期・秋学期を併せて30名の学生に奨学金を給付いたしました。

おうてもん塾

２０１５年10月～11月の金曜日18時30分より、追手門学院大阪梅田サテライトにて「おうてもん塾第２期」地域創造学部・心理学部による「まちづくり」講座を開催しました。

地域創造学部と心理学部の先生を講師にお迎えし、郷土芸能、地域文化創造、観光、安全安心、成熟社会、無縁社会をキーワードに「まちづくり」のあり方について講演いただきました。各講座終了前の質疑応答にも積極的に参加されるなど、受講された方は皆さま熱心にご参加いただき、講座は盛況に終わりました。

今回も夜の講義ではありましたが、多数の方にご来場いただき有難うございました。来年度は、４月に発行する教育後援会会報に「２０１６年度おうてもん塾第１期」の内容と申込のチラシを同封いたします。皆さまのお申し込みを心よりお待ちしています。

2015年度 春学期末学位授与式・卒業記念パーティー

９月25日（金）、２０１５年度春学期末学位授与式が大学１号館３階会議室５にて挙行されました。

午前10時30分に開式し、国歌斉唱後、坂井学長より卒業生に学位記が授与されました。続いて学長式辞、理事長・学院長祝辞、来賓紹介、卒業記念品贈呈が行われ、最後に慣れ親しんだ学院歌を斉唱し、滞りなく式は終了しました。

式後、食堂棟２階コンベンションルームにて卒業記念パーティーを開催しました。川原理事長・学院長祝辞、教育後援会渡辺会長の挨拶に続き、坂井学長の乾杯のご発声で会食が始まりました。

多数の方々にご参加いただき、わずか１時間余という短いひとときでしたが、卒業生たちとの間には楽しい語らいの輪が広がり和やかな雰囲気となりました。

最後に校友会林田会長よりお祝いと歓迎のご挨拶を頂戴した後、卒業生代表より謝辞があり、名残惜しみつつ卒業記念パーティーは幕を閉じました。

第49回 将軍山祭

2015年 11/1(日)▶3(火)

テーマ 笑愛

第49回将軍山祭実行委員会

経営学部　経営学科
4年　藪田　勝

第49回の将軍山祭が今年度も開催されました。初日は雨の心配もされましたが、イベントに大きな支障もなく3日間無事終えることができました。

将軍山祭の運営にあたり、御支援ご協力くださいました関係者の皆様に、委員会を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

今年は去年よりもっと新しいことにチャレンジする年として活動しました。ミスコンテストや学館内にあるテレビに将軍山祭のCMを流すなど実施し、無事3日間終えることが出来ました。「笑愛」のテーマを掲げ始まった49回将軍山祭は子供から大人、教職員の方々、STAFF一同から最高の笑顔を見ることができました。私はこの将軍山祭に4年間所属し4回将軍山祭を見ましたが、49回が最高の学園祭でした。そして、たくさんの人と出会えて本当に良かったと思っております。

来年以降も今年以上の笑顔や盛況を目指し委員会一同活動してまいりますので、御支援ご協力の程よろしくお願いします。

2015年度 ホームカミングデー

将軍山祭期間中の11月1日(日)に大学校友会主催の第25回ホームカミング・デーが食堂棟などで開催されました。

本年度は、2016年に迎える大学創立50周年を記念した交歓会として、大学校友会の総会や分野別同窓会が盛大に執り行われました。将軍山会館では第1期卒業生からの「卒業アルバム展」や初代学長の展示物を集めた「天野利武展」が開催されていたこともあり、多くの卒業生と家族たちが母校に帰ってきました。

会場では、アメリカ民謡研究部OBバンドの演奏と共に、恩師や級友との旧交を温めあう光景が各所で見られました。

追手門学院大学における インターンシップの取り組みについて

就職・キャリア支援課

インターンシップとは？

インターンシップは、学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことととして幅広く捉えられており、多種多様なプログラムが実施されています。本学でもインターンシップ制度に力を入れており、毎年多くの学生が実習に参加しています。

参加の意義

「社会を知る」「自分を知る」ことができるのが、インターンシップに参加する意義です。実際に社会に出て、そこで働く人々とともに仕事をする経験を通じて、「会社や組織の仕組み」「働くとはどういうこと」「社会でどのような力が求められるのか」等について実感を伴って知ることができます。また、「今興味のある仕事が本当にやりたいことかどうか」「自分の適性」「将来どうなりたいのか」等について自己理解が深まります。これにより、将来に向けて今取り組むべきことを明確にすることができます。

アルバイトとの違い

アルバイトとインターンシップでは何が異なるでしょうか。アルバイトは、事業所が労働力の確保を目的として求人するものです。社会経験という側面もありますが、主に「自分の自由な時間をその企業に渡して、その代価としてお金を得る」という形態になります。

一方インターンシップは、学生が就業体験を通じて社会で働くことを理解し、今後の学業生活や将来のキャリアプランに役立てる目的で実施されています。

単純な労働力と認識されるアルバイトと異なり、インターンシップは人材育成の機会と捉えられているので、実習内容も企業の仕組みや業務を理解できるものになっています。「仕事や企業について知りたい」という意欲を持つ学生の期待に応える制度である点が、アルバイトとの大きな違いです。

就職に有利になる？

インターンシップに参加すれば就職に有利になるか、という質問がよく出ますが、有利になる場合もあれば、特に影響のない場合もある、というのが実情です。

例えば、採用直結型インターンシップのように、企業・団体がインターンシップを通じて優秀な学生を見極めようとしている場合であれば、学生が一定の成果を残すことができれば即採用に繋がります。また、春休みに3年生を対象に募集している1DAYなどの「短期インターンシップ」については、採用活動の一環として実施している企業が多く、参加側も就職活動の一環という意識で臨むことが必要です。

一方、受入側が純粋に人材育成のために実施している場合は、その企業・団体への就職に大きな影響はないと考えてよいでしょう。ただ、実践度の高い中長期のプログラムでビジネススキルを身につけることができれば、結果的に就職活動が有利に進むことは多くあります。1～2週間程度のインターンシップであっても、業界や仕事への理解が深まれば、進路選択への迷いが無くなり、結果として就職活動がうまくいく、と考えられます。

追手門学院大学のインターンシップ制度について

本学では2000年度から経営学部において正規の授業としてインターンシップをスタートし、2001年度には全学部の3年生を対象に実施しました。また、大学と直接協定を結んでいる受入先は約200社あり、多様なプログラムを提供しています。

受入先、実習生ともに年々増加しており、2015年度夏期のインターンシップには、213名の学生が実習に参加しました。2015年度からは対象を全学年へと拡大し、1～2年生の参加も多くなってきています。

実習には、業界・業種を問わずビジネス現場や仕事を経験したい人、企業の実際を知りたい人を対象とした体験型のプログラムが多い一方、ビジネス現場での本気のチャレンジを通じて成長したい人を対象とした、「追大実践型インターンシップ」と題した中長期実践型のプログラムも本学独自に開発しています。

インターンシップへの参加を希望する場合は、インターンシップ説明会への参加が第一歩となります。4月に開催予定ですので是非参加してください。詳しくは就職・キャリア支援課までお問合せください。

インターンシップ体験談

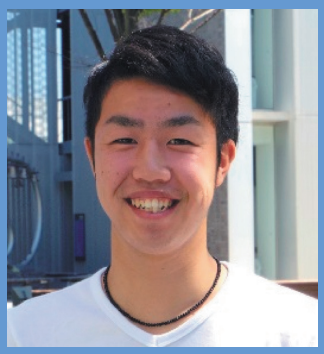
心理学部心理学科１年生（参加時）
実習先：株式会社キャッチアップ

瀬々　健咲

大学に入学して、何か始めたいと思っていました。1年生のうちに自分の課題を見つけたいという思いから、追大実践型インターンシップであるキャッチアップでの実習に応募。実習の中心は、キャッチアップが運営する地域情報サイトへの掲載許可を取るために、茨木市中のお店へ営業にまわるというものでした。

実習中に3人のインターン生で２０００件の掲載目標を達成でき、社員の方からも高く評価していただきました。また、朝礼で急にテーマを振られ、即座に話をするということを毎日行ったことから、受け答えの対応力は自分でも実感するくらい成長しました。

インターンシップを通じて、考えたことを実際に行動に移すことができるようになったので、これからも色々なことにチャレンジしていきます。



ビリケンさんも駆けつけ 笑顔のスタート
～笑学研究所の記者発表会を開催

10月1日（木）に笑学研究所を設立し、10月8日（木）に記者発表会を行いました。

また、開設記念シンポジウム「笑う門には福来たる」が11月26日（木）に開催されました。多くの皆様にご参加いただき、笑いについてご講演、パフォーマンスをいただき、たくさんの笑い声のあふれる会となりました。

笑学研究所の特別顧問に通天閣観光株式会社の西上雅章社長が就任されたご縁で、会場には通天閣からビリケンさんが駆けつけて、本学公式キャラクターのおうてもんとともに会場を盛り上げました。

幸運の神であるビリケンさんが開設記者発表会に登場したことで、幸先の良いスタートとなりました。

スポーツ研究センター主催セミナー

「スポーツで元気になる、強くなる」

スポーツの力で個人も地域も元気にすることができます。各人のスポーツの効果的な取り組みや地域の活性化に役立つ様々な知識や事例を取り上げ、第５回「今から始める誰でもできる実践スポーツ栄養学～効率的なタイミングから具体的な料理まで～」を2016年１月19日（火）15時～ 16時30分まで開催します。参加ご希望の方は左記までお問い合わせください。

＊問い合わせ先＊　受講料無料

追手門学院大学　スポーツ研究センター
（平日：9：30 ～ 17：00）
E-Mail：sports@otemon.ac.jp
電　話：072 － 641 － 9690
F A X：072 － 641 － 9695

教職支援センター

追手門学院大学では、教員を志す在学生や卒業生を支援する「教職支援センター」が開設されています。毎年、センターオリジナルの「教員採用試験対策ガイドブック」による「教職スタートアップガイダンス」、「追大卒業生教員との交流会」、「模擬試験」、「夏期講習」、各種「教員採用試験対策講座」、「個人面談」などを実施し、在学生・卒業生が多数参加しております。さらに今年度からは、「小学校教員免許取得プログラム奨学金制度」の実施、「教職自習室」の開設と、教員をめざす学生の皆さんへのサポート体制が一層充実されました。

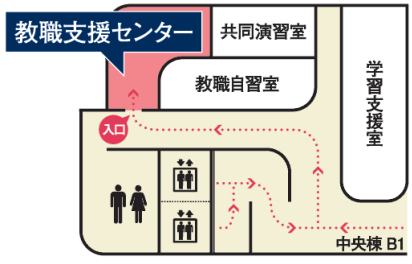
教職をめざす学生の皆さんに、ぜひセンターを活用していただきたいと考えております。

支援内容
- 個人相談受付
- 個別学習プランの作成
- 教員採用試験対策セミナー、講座、学習会等の開催
- 教職インターンシップや学校ボランティアの紹介
- 教員採用試験に関わる情報提供
- 卒業生教員等の交流・連携など

利用案内
- センター開設時間
  月～金（平日）
  9:30 ～ 17：00
※図書・資料の閲覧ができます
※個人相談も随時受け付けます
- 連絡先
  TEL：072-641-9187
  （ダイヤルイン）
  E -mail：
  kyoshi@otemon.ac.jp

場所　下記マップ参照

中央棟Ｂ１



教職採用試験合格者

教職支援センターで指導を受けた学生が合格しました！

★大阪府高等学校国語教員採用試験合格
中田　祐大さん
（2015 年３月心理学部卒業）
★大阪市小学校教員採用試験合格
中島　琴音さん
（国際教養学部英語コミュニケーション学科在学中）

国際教養学部「英語コミュニケーション学科」の名称を、2016 年４月１日から学部名称と同じ「国際教養学科」へ変更する予定です。
この名称変更は教育課程に特別な変更をともなうものではなく、2016 年度の入学定員や入試制度などに変更はありません。

2016 年4月１日から名称変更予定

「英語コミュニケーション学科」から「国際教養学科」へ

★2016 年３月に卒業する方は　英語コミュニケーション学科
★2016 年９月以降に卒業する方は　国際教養学科

国際教養学部英語コミュニケーション学科は、国際社会の多方面で活躍する表現力、行動力、判断力を兼ね備えた教養人、高い語学力と国際性を備えたグローバル社会で即戦力となる人材の育成を目指して、2007 年４月に開設されました。

現在では、国際教養学部は珍しくなくなり、国際あるいはグローバルの名称を冠した学部や学科が多くできていますが、本学が関西初の国際教養学部を設置したときは、大変注目を集めました。その意味で本学は、先駆者として、語学に重点を置いたリベラル・アーツ教育の先導的役割を果たしてきましたが、開設から８年が経過し、社会の変化に対応した改革も必要になってきています。

そこで、英語コミュニケーション学科の更なる飛躍を期し、また今後の外国人留学生の募集等も考慮して、その学科名称を、実際の教育内容や人材育成の目的、グローバル化に取り組む本学科の教育方針などを、より適切に表す名称である「国際教養学科」へ変更（予定）することとしました。

これを機に様々な改革にも着手し、より実用的な英語教育の一層の充実と、これまで以上に社会で活躍できる、確かな語学力を有する人材の育成に努める所存です。

この名称変更は予定であり、変更することがあります。
名称変更の正式決定は 2015 年 12 月下旬の予定です。

硬式野球部が29年（56季）ぶり1部昇格!!

10月26日（月）、硬式野球部が阪神大学野球秋季リーグ戦、甲南大学との入替戦第３戦に臨みました。

１勝１敗で迎えたこの日の試合では初回に１点を先制するものの、すぐに逆転される厳しい展開となりました。しかし５回に３点を挙げ逆転に成功。４対３と１点差に詰め寄られた後の９回裏には２アウト満塁の大ピンチを迎えますが、最後のバッターをセカンドフライに打ち取りゲームセット！

対戦成績を２勝１敗とし、29年（56季）ぶりの１部昇格を決めました！

来年からは強豪大学がひしめく１部に戦いの場を移すことになります。硬式野球部の今後の活躍にご期待ください。

教育後援会ホームページをリニューアルしました

URL：https://www.otemon.ac.jp/

今回のリニューアルでは、保護者の皆様がより見やすく、より快適に利用できるホームページを目指し、ページ構成やサイトデザインを全面的に見直しました。また、近年のスマートデバイスの普及に伴い、全ページでスマートフォン、タブレット端末に対応しました。

今後とも、内容の充実を図るとともに、よりタイムリーに情報を発信してまいります。

◀左記硬式野球部の１部昇格号外・追スポも PDF でアップしました!!

お知らせ

★学位授与式
日時　2016年3月22日(火)　11時開式（10時30分までに着席）
場所　追手門学院大学　体育館

★卒業記念パーティー
日時　2016年3月22日(火)　16時30分開始（16時開場）
場所　ホテルニューオータニ大阪（JR大阪城公園駅より徒歩5分）

★入学式
日時　2016年4月1日(金)
場所　追手門学院大学　体育館

★教育後援会新会員歓迎会
日時　2016年4月1日(金)　入学式終了後
場所　追手門学院大学　6号館優駿ホール他

★「桜の縁」（お茶会）
日時　2016年4月1日(金)　新会員歓迎会終了後
場所　「松籟庵」及び「将軍山会館」

保健室より

健康診断

大学では、学校保健安全法に基づき、「定期健康診断」を前年度の３月末頃と４月の２回に分けて実施しています。**全学生が毎年受診する義務があり、大学で受診できなかった場合には、最寄りの保健所か医療機関で受診し、診断書を提出していただくことになっています（個人で受ける健康診断の費用は個人負担になります。）。**

2016年度は、３月末と４月初旬に学部・学年別に実施を予定しています。詳細は、１月末頃には学内掲示板、UNIVERSAL PASSPORTを通じてお知らせしますのでご確認下さい。

健康診断の証明書は**５月頃**から発行可能です。この証明書は就職活動でも必要になりますので、必ず受診していただきますようお願い申し上げます。

健康相談

保健室では、随時健康相談を受け付けています。必要に応じて医療施設や専門医の紹介もしていますが、毎週火曜日の14時から16時には、学校医による健康相談も実施しています。また、保健室では、禁煙支援にも力を入れていますので、禁煙したいけれどもなかなかうまくいかないとお悩みの学生さんはぜひご利用下さい。